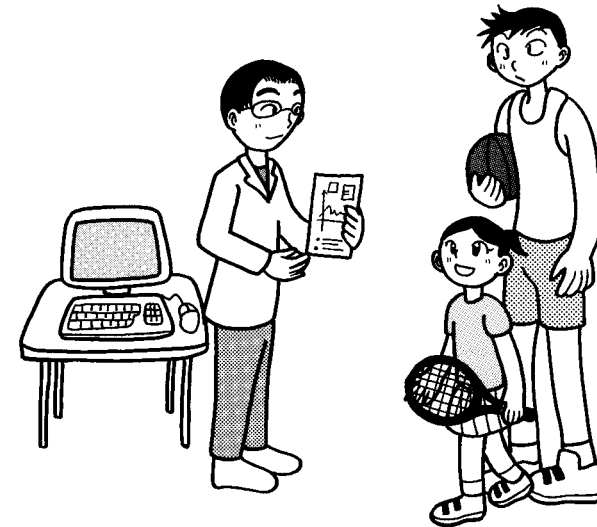


## 心肺運動負荷試験における新しい無酸素閾値指標の検討

研究代表者 国立循環器病センター研究所 下内 章人

健康を保つためにスポーツを行うときには、その人にあった運動負荷強度を決める必要があります。そのために無酸素閾値（AT）という値が有力な指標として採用されています。この値を呼気の酸素と炭酸ガスの分析から非侵襲的に決定する方法があります。しかしこの方法は現実的に困難を伴います。そこで本論文では超高感度の大気圧イオン分析装置を用い、ハイパークリーン呼吸回路システムを開発し、運動負荷試験を行ったところ、運動強度の増大に伴い質量数の増加する多数の物質があることが分かりました。これによって、ATの新しい推定方法の開発の糸口が見つかったこととなります。



ハイパークリーン呼吸回路システムは無酸素閾値（AT）を推定する新しい方法になりそうだ。

